



日々の暮らしと横浜の歴史資産を一步近づける

ヨコハマヘリテイジスタイル

2020年夏号

公益社団法人横浜歴史資産調査会 令和2年7月31日発行



旧湘南電鉄瀬戸変電所内部。碓子が見える（写真 米山淳一）

<ごあいさつ>

会員のみなさま、日頃から当公益社団の活動に格別のご支援、ご協力を賜りありがとうございます。また、令和2年度会費の納入にも格別のご高配を賜り、深謝申し上げます。みなさまのお陰で当公益社団は順調に事業を行っております。重ね重ねお礼を申し上げます。

さて、令和2年6月26日（金）には無事に令和2年度の総会を開催させていただきました。歴史を生かしたまちづくり31周年、法人化11周年を迎えるにあたり、新たな気持ちで4本柱であります調査、保護、普及啓発、会員事業を推進して参る所存でありますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和2年度は、特に旧湘南電鉄（現京急電鉄）瀬戸変電所の保存に向け一歩進んだ形での事業を行います。例えば、耐震補強計画や活用計画の作成を具体的に行います。あわせて、年度内に横浜市認定歴史的建造物としての認定や将来にわたる保存のための取得も視野に入れたく存じます。

一方で、新型コロナウイルス感染症によって歴史を生かしたまちづくり関連の各種イベントや、当公益社団がその役割を担うシルクロード・ネットワークフォーラムや日本鉄道保存協会関連大会などの開催が微妙な状況にあります。

しかしながら、社会情勢や関係のみなさまのご意見やご助言に真摯に耳を傾け、着実に事業を行って参る所存でございますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

会員のみなさまのご支援、ご協力なくして事業の発展はございません。引き続きよろしくお願い申し上げます。

令和2年7月吉日
公益社団法人横浜歴史資産調査会
会長 宮村 忠

(3) 普及啓発事業

<受託事業>

歴史的資産に関する専門家の育成や、まちづくりに関する市民の理解を深めるために横浜市都市整備局からの受託事業を実施します。また、公益財団法人横浜市緑の協会から、同財団が管理する俣野別邸や山手西洋館他での運営アドバイスに関する事業を受託事業として実施します。

①横浜市都市整備局からの受託事業

- ・「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol.43」を開催します。
- ・『歴史を生かしたまちづくり横濱新聞』第36号を発行します。

②公益財団法人横浜市緑の協会からの受託事業

- ・俣野別邸、山手西洋館、旧伊藤博文金沢別邸の職員向け研修等を実施します。
- ・俣野別邸において、市民向けの歴史講座やコンサートなどを開催します。

<自主事業>

①ヨコハマヘリテイジセミナーの開催

「旧モーガン邸の新たな船出」と題し、旧モーガン邸再建に向けたセミナーをNPO法人旧モーガン邸を守る会と協働で開催いたします。当該セミナーは、令和元年度事業として令和2年3月20日に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催を中止しましたので、令和2年度に改めて計画・実施いたします。さらに、2022年の新橋—横浜間鉄道開業150周年を記念し、「近代化遺産としての鉄道遺産を生かしたまちづくり」と題したセミナーを開催します。

②コンサート in ヘリテイジ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.9」の開催

横浜山手芸術祭の一環としてピアノコンサートを山手西洋館で開催します。

③「シルクロード・ネットワーク・神戸市フォーラム 2020」の開催支援

シルクロード・ネットワーク協議会の代表幹事団体として、絹産業で横浜に繁栄をもたらした関東甲信越、東北各地他の市町村と連携し、絹文化の啓発、保全、活用をテーマに、NPO法人街・建築・文化再生集団(RAC)等と連携して、神戸市にて開催する「シルクロード・ネットワーク・神戸市フォーラム 2020」(総会、講演会、シンポジウム、見学会等)の支援をいたします。(横浜市、新庄市、福島市、鶴岡市、南砺市に続き、6回目の開催となります。)

④「日本鉄道保存協会・栗原市大会」の開催支援

日本鉄道保存協会の代表幹事団体として、近代化遺産である歴史的車両、施設、構造物を保存している自治体、鉄道事業者、NPO等の団体等と連携して宮城県栗原市(くりでんミュージアムなど)でおこなう同協会の総会、講演会、シンポジウム、見学会等の開催を支援いたします。

⑤「横浜の鉄道150年記念誌」(仮)編集発行の委員会設置

2022年の新橋—横浜間、鉄道開業150周年記念を目標に、「横浜の鉄道150年記念誌」(仮)を日本鉄道保存協会と協働で発行するための委員会を設置します。

(4) 会員事業 <自主事業>

当公益社団の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ会員の募集と合わせて、幅広く広報活動等を推進いたします。

①会報誌『ヨコハマヘリテイジスタイル』を年4回発行

②ホームページの充実

(5) 「歴史を生かしたまちづくり相談室」の運営

横浜市内や神奈川県内等には多くの歴史的建造物等の歴史的資産が数多く存在しています。時代と共に取り壊される運命にある対象も年々増えています。しかし、これらの歴史的建造物は、一度壊してしまうと元には戻せません。また、歴史的建造物の老朽化、居住性の低下、修理費、固定資産税や相続税等が障害となり、保全・活用を行いたくても出来ないで悩んでいる方が多くいらっしゃいます。そこで、様々な相談に対応し、瞬時に調査、保全の提案、修理、住まい手紹介、取得等の有効な手当を行うことが必要とされていることから、平成26年に「歴史を生かしたまちづくり相談室」を開設しました。この相談室は、将来にわたる「歴史を生かしたまちづくり」に大切な、歴史・文化資源を確保することを目的として運営に力を注ぎます。

(6) 公益社団法人横浜歴史資産調査会設立10周年記念事業の開催 <自主事業>

平成21年6月2日に横浜市都市デザイン室内の横浜市歴史資産調査会から神奈川県認定の一般社団法人横浜歴史資産調査会(愛称:ヨコハマヘリテイジ)として「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために新たな一歩を踏み出しました。さらに、平成25年4月1日には内閣府認定の公益社団法人格を取得し、全国を対象とした公益法人(いわゆる免税団体)として歴史的資産の調査、保存、活用、管理等の事業を推進して参りました。

昨年度、法人として活動を開始してからお陰様で10年目を迎えました。この節目を好機と捉え「歴史を生かしたまちづくり」を将来にわたり積極的に推進して参る覚悟で設立10周年記念事業を行います。

当該事業は、令和元年度事業として令和2年3月6日に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催を中止しましたので、令和2年度に改めて計画・実施いたします。

(常務理事 米山淳一)



山手133番館



倉石邸のある善光寺街道稲荷山宿

ヨコハマヘリテイジの活動報告

旧湘南電鉄(現京急電鉄) 瀬戸変電所保存に向けてスタート



金沢八景駅上りホームに隣接して建つ旧湘南電鉄瀬戸変電所は昭和4年(1929)竣工の歴史的建造物です。約4年前から横浜市都市デザイン室と当公益社団が力を合わせて保存に向けた京急電鉄との調整や構造・耐震等の様々な調査を実施し、保存活用委員会を設け、将来に亘る方向性を検討して参りました。

今年度は、耐震補強計画の作成を行います。7月16日に保存活用委員会委員長後藤治氏(工学院大学理事)を担当する長坂設計工舎代表の長坂健太郎氏や上村一貴氏(東京大学生産技術研究所協力研究員)が現地を訪問。今後、専門的な各種調査を進め、耐震補強や耐震工事計画の詳細を明らかにし、これを元に事業に向けた取り組みを推進します。

旧倉石忠雄家住宅生活文化 調査スタート



明治期を中心に横浜と生糸や絹製品の交易で結びついていた稲荷山地区(長野県千曲市)。江戸期は善光寺街道の宿場町、明治大正期は商業地として繁栄していました。中でも倉石家住宅は有数の商家でした。

約3年前から千曲市と協働で建物調査等を行ってきましたが、今年度は生活文化の視点からご当主へのヒヤリングや文書調査を行うことになりました。

倉石家は、明治、大正、昭和にかけ蚕糸業で繁栄し、横浜を通して生糸の輸出を行っていました。また労働大臣や農林大臣を歴任された衆議院議員倉石忠雄氏の生家でもあります。現在のご当主である倉石久寿さん85歳(写真)にお話を伺います。

山手公園管理事務所・ 旧山手68番館の解説板製作監修



テニス発祥の地として知られている山手公園の管理事務所は、洋風デザインの旧山手68番館を核として再生された建物です。また、横浜市が歴史を生かしたまちづくり要綱を設ける以前の昭和60年頃、堀勇良(当時横浜市開港資料館・現在当公益社団理事)や北澤猛氏(当時横浜市都市デザイン室・故人)、菅孝能氏(山手総合計画研究所)らが知恵を出し合い、取り壊し寸前の旧山手68番館を移設し、新たに付属屋を付け加えて出来上がったのが今の山手公園管理事務所です。

当公益社団はここを管理する公益財団法人横浜市の緑の協会から依頼を受け、資料、図面、写真を盛り込んだポスター大2枚の解説板の製作監修を行いました。解説文とデザイン=関和明(関東学院大学名誉教授・当公益社団理事) 図面・写真提供=菅孝能氏(山手総合計画研究所会長)

野毛都橋商店街ビルに解説板を 設置



野毛のランドマークとして知られる都橋商店街ビルは、大岡川沿いに弧を描くように建つ鉄筋二階建ての横浜市登録歴史的建造物です。縁あって当公益社団が取得し保護資産第1号として、横浜の歴史を生かしたまちづくりにとって大切な建物として保存、管理しています。この魅力を多くの皆様を知っていただくことを目的に、建物中央階段付近に解説板を設置いたしました。人々の憩いの場として親しまれているこのビルが未永く愛されることを願っております。

制作=(株)ユー・エス・シー
写真=田中光一 文=米山淳一

野毛都橋商店街ビル ポストカード作成中!



野毛都橋商店街ビルの魅力をポストカードにして発信します。高精度超広角レンズを使用して昼、夜のビルの姿をとらえた5枚の写真に解説書をつけて1セットになります。

1セット500円(税別)、送料180円(10部まで)
写真=田中光一 文=米山淳一

※ポストカードおよびブックレットご希望の方は、ヨコハマヘリテイジ事務局までメールまたは電話でご連絡ください。

ヨコハマヘリテイジブックレット-3 「横浜の茅葺き建築」発行



「山手の西洋館」「港一鉄道一横浜」に続くヨコハマヘリテイジブックレットの3冊目、「横浜の茅葺き建築」を作成いたしました。執筆はこの分野の専門家である当公益社団法人理事の大野敏(横浜国立大学教授)が担当しました。横浜に残る茅葺き建築の現状、課題をご理解頂く1冊として、活用して頂ければ幸いです。1冊300円(税別)、送料180円(10部まで)

【お知らせ】

今年度10月に宮城県栗原市で開催予定の「日本鉄道保存協会総会・見学会」および11月に神戸市で開催予定の「シルクロード・ネットワーク2020神戸市フォーラム」は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、現在開催方法を検討中です。皆さまと笑顔でお目にかかることがかなわないかもしれませんが、皆さま健康第一でお過ごし下さい。医療機関はじめ、多くのコロナと戦う皆さまのご健闘に感謝いたしております。

ヨコハマヘリテイジは免税団体です

歴史的資産の保存活動を推進するために、皆様の寄付をお願いしております。ご寄付を頂いた方には、免税証明書を発行いたします。確定申告の際に控除となります。

「歴史を生かしたまちづくり相談室」相談受付中!

【お問い合わせおよびご相談はこちらへ】

公益社団法人横浜歴史資産調査会 事務局
〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号室
TEL/FAX: 045-651-1730
E-mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp

【ヨコハマヘリテイジスタイル 2020夏号】 令和2年7月31日発行

公益社団法人 横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ) 〒231-0012横浜市中区相生町3-61 泰生ビル405号室

Tel: 045-651-1730 mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp